

News Letter

2007年7月31日

国際公共経済学会事務局発行

Web <http://ciriec.com/>

国際公共経済学会 News Letter No.55

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20

東洋大学経済学部 松原聡研究室内

Te l& Fax 03-3945-7415

E-mail: japan@ciriec.com

1. 第22回研究大会のお知らせ

国際公共経済学会第22回大会は、12月8日(土)、9日(日)の両日、名古屋学院大学・名古屋キャンパス(熱田区白鳥地区)において開催されることとなりました。

本大会では、「通信と放送の新時代ーグローバル化、産業融合の視点からー」としてプログラムを構成しますので、こぞってご参加くださいますようお願い申し上げます。

大会プログラムとして、下記のように共通論題などを設けますので、報告をご希望の方は積極的にご応募ください。(下記「6. 報告募集」を参照。)

プログラム案が確定し次第、報告予定者には報告要旨(10月31日締切)の書式等、あらためてご通知申し上げます。

第22回研究大会実行委員長 有賀 敏之

1. 日程

2007年12月8日(土)、9日(日)

2. 会場

名古屋学院大学・名古屋キャンパス(熱田区白鳥地区)

(名古屋駅からJRと地下鉄を利用して約10分。地下鉄日比野駅・西高蔵駅のどちらからでも徒歩8分)

〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町1-25

TEL. 052-678-4089(総合研究所)

E-Mail: aki-itoh@rj9.so-net.ne.jp

3. 実行委員会体制

実行委員長	有賀 敏之(名古屋学院大学/学会理事)
実行委員会副委員長	水田 健一(名古屋学院大学/学会理事)
実行委員	松原 聡(東洋大学/学会事務局長)
実行委員	澁澤 健太郎(東洋大学/学会理事)
実行委員	田端 和彦(兵庫大学/学会理事)
実行委員	穴山 梯三(東京電力/学会理事)
実行委員	伊藤 昭浩(名古屋学院大学/学会幹事)

4. 大会テーマ

「通信と放送の新時代ーグローバル化、産業融合の視点からー」

5. 大会趣旨

近年の情報通信技術の発展は、本来シームレスであるべき通信と放送の在り方に大きな変化をもたらしました。昨年来、通信・放送をめぐる法体系ならびに行政の在り方や、NHK改革、NTTの組織や独占性を含めた通信の在り方、放送業界全体の在り方など、通信と放送の融合に関する本格的な議論がいつせいにこぼれ出ていることは、まさに新時代の到来を告げるものと考えられます。

今回の大会では、このような国内の状況のみならず、グローバル化の進展に伴う国際的な動向をも視野に収めながら、産業融合時代に相応しい社会システムの在り方についての本格的な議論を展開し、内外に議論を喚起してゆきたいと考えています。

6. 報告募集

(1) 共通論題「通信と放送の新時代ーグローバル化、産業融合の視点からー」

12月8日10:00~12:30

(2) 自由論題

12月9日13:30~16:00

(3) 院生セッション

12月9日10:00~12:30

報告を希望される方は、**9月8日(土)**までに、同封の報告の申し込み書にて電子メールかFAXにて①氏名 ②現住所 ③電話・FAX番号 ④メールアドレス ⑤所属 ⑥共通論題、自由論題、大学院生セッションの別⑦報告タイトル⑧研究の背景と目的⑨研究の内容・方法⑩結論⑪キーワード3つを必ず明記して、名古屋学院大学・伊藤昭浩宛にご連絡ください。(用紙は学会のホームページにもあります。)

E-mail: aki-itoh@rj9.so-net.ne.jp (同時にccにて事務局 japan@ciriec.com にもお送りください。)

FAX: 020-4668-4480(伊藤直通 G3FAX対応)(FAXも学会事務局 03-3945-7415にもお送りください)

7. 大会プログラム(案)

【12月8日(土)】

午前の部

◇受付 9:30~

◇第1セッション<共通論題報告>(10:00~12:30)

◇昼食 (12:30~13:30)

午後の部

◇大会開催校挨拶(13:30~13:35)

◇会長挨拶(13:35~13:45)

◇シンポジウム(13:45~16:45)

テーマ「通信と放送の新時代ーグローバル化、産業融合の視点からー」

基調講演(13:45~14:45)

パネルディスカッション(14:45~16:45)

- ◇懇親会 フードバー 会費 5000 円 (17:00~18:30)
学長挨拶 小嶋 博 (名古屋学院大学学長)
司会進行 水田 健一 (実行委員会副委員長)

【12月9日(日)】

- 午前の部 (10:00~12:30)
◇第2セッション (院生セッション)
◇第3セッション (院生セッション)
◇第4セッション CIRIEC INTERNATIONAL
◇昼食 (理事会) (12:30~13:30)
- 午後の部 (13:30~16:00)
◇第5セッション (自由論題報告)
◇第6セッション (自由論題報告)
◇第7セッション・マニフェスト評価機構*
◇総会 (16:00~16:30)

*本学会の関連団体のコーナーです。

2. 第16回学会賞・第8回尾上賞の公募について

第16回を迎えた学会賞、第8回の尾上賞の公募を下記の規定に基づいて行います。自薦、他薦を問いませんのでふるってご推薦下さい。

対象 学会賞：若手の研究者の学術書・研究書（一般書、新書の類は対象外）。特に年齢制限は設けていませんが、著書等の刊行歴があまりない方を主として対象とします。

尾上賞：既に実績を有する研究者の学術的研究等（学術書、研究書、一般書などの著書、および顕著な学会活動など）。

対象期間 2005年7月1日～2007年6月30日までに公刊された会員による著書等

締め切り 2007年9月30日

宛先 学会事務局まで紙面にてお願いします。また、著書等を1部お送り下さい。

3. ビクトリア・第1回社会的経済コンファレンスへのお誘い

CIRIEC が世界の社会的経済研究者・実務家を一堂に集めた、社会的経済の研究コンファレンスを開催します。

社会的経済に関わる政策的問題および研究課題を解明し、研究者と実務家との協同研究活動の活発化・研究領域の拡大をめざし、社会的経済が占める位置の異なる国家の研究者・実務家・政策担当者たちがそれぞれの経験と見解を交換するという CIRIEC 初の試みです。

参加者には、Lester SALAMON、Carlo BORZAGA、Avner BEN-NER など、社会的経済の重要な研究者が予定されています。また、日本からは、プレナリー・セッションに栗本昭氏が、"The Social Economy in Communities: An Asian View"を報告される他、田端和彦・舟場正富、"How to promote the role of community and social economy in the disaster management: Reflections from the

Great Hanshin-Awaji Earthquake"、牧野松代・Achjar、"Sustainable Livelihood and Resilience in Natural Disasters: The Emerging Role of Social Economy in Asia"、今村肇、"Social Capital Formation for Supplying Local Community Services through Co-ordination of Social Economy, Local Governments and For Profit Enterprises in Japan - Comparing with Europe and North America"の報告が行われます。

開催地の、カナダ・ビクトリアは、先日サッカーの U-20 ワールドカップが行われたところでもあります。バンクーバーに隣接し、自然に囲まれた観光資源の豊富なところでもあります。また、会場のフェアモント・エンプレスホテルも格安にて宿泊できるコンファレンス参加者用の特別割引が用意されていますので、お早めにお申し込み下さい。

詳細は下記の URL にてご確認ください（学会のホームページをご覧ください）。オンライン申し込み、FAXでの申し込みとなります。

<http://www.conference.se-es.ca/> (コンファレンス)

<http://www.fairmont.com/Empress> (ホテル)

お申し込み等、わからないことがありましたら事務局までご連絡ください。

4. 第27回CIRIEC国際大会のお知らせ

次回開催される第27回国際大会は、2008年9月22日～24日スペインのセビリアで開催されます。

詳しいことがわかり次第、お知らせします。

5. 2007年度個人会費請求

当学会は、2007年12月1日より新年度に入りました。つきましては、2007年度（2006年12月1日～2007年11月30日）の個人会費8000円を未納の方は、同封しました振込用紙で納入をお願いいたします。なお、2005年度、2006年度未納の方は、併せて納入をお願いいたします。